

令和 3（2021）年 8 月市長臨時記者会見の概要と質疑応答

令和 3（2021）年 8 月 27 日（金曜日）
午後 5 時 15 分～5 時 55 分
柏崎市役所多目的室

1 発表事項

(1) 市内での新型コロナウイルス感染症患者（市内 175～179 例目）の発生について

（主管：防災・原子力課）

8 月 26 日、市内で新型コロナウイルス感染症患者が新たに 5 名確認されました。

市内 175 例目は、柏崎市居住の 50 歳代で会社員の男性です。8 月 26 日に陽性が判明しました。県外への移動歴があります。

市内 176 例目は、柏崎市居住の 30 歳代で会社員の男性です。

市内 177 例目は、柏崎市居住の 10 歳未満の男性です。

市内 178 例目は、柏崎市居住の 10 歳未満の男性です。

市内 179 例目は、柏崎市居住の 10 歳未満の女性です。

市内 176 例目から 179 例目までの 4 名はご家族で、いずれも市内 171 例目の濃厚接触者です。8 月 26 日に陽性が判明しました。171 例目の方は 30 歳代会社員女性で、8 月 23 日に発熱症状があり、8 月 24 日に医院を受診して PCR 検査を行ったところ、8 月 25 日に陽性が判明しました。

177 例目と 178 例目の方は市立小学校の児童で、当該小学校は、昨日、今日の 2 日間を休校としています。また、179 例目の方は私立保育園に通っており、該当保育園は休園しています。保健所がそれぞれの濃厚接触者を特定し、小学校児童 54 名、小学校の教職員 3 名、児童クラブの支援員 4 名、保育園児 43 名、保育園の職員 8 名、合わせて 112 名の PCR 検査を本日行いました。結果は明日の午後になると承知しています。

8 月 1 日から 27 日までに 94 件の陽性者が確認されました。これまで市内で確認された全 179 件の半分以上がこの 27 日間で確認されています。変異株の感染力の強さを実感しています。市民の方からも、もう少し強い措置が必要ではないかというご意見をいただいています。議会にも現状をお話しするとともに、少しでも症状があった場合には、学校、保育園・幼稚園、習い事、会社に行かないということを徹底していただきたいと市民の皆さんへお伝えしたいと思います。

(2) 今年度 16～47 歳になる皆さんのワクチン予約・接種日程について

(主管：健康推進課)

市民の皆さんからワクチン接種のお問い合わせが非常に多くなっていますので、現在のワクチン接種の状況と今後の見込みについてお話しします。

まず、8月26日現在のワクチン接種状況を申し上げます。対象となる市内12歳以上の方は75,261人います。この中で2回の接種が終わった方は40,212人で、接種率は53.4パーセントです。年代別で申し上げますと、65歳以上は89.2パーセント、60歳から64歳は81.3パーセント、50歳代は30.9パーセント、40歳代は24.3パーセント、30歳代は22.9パーセント、20歳代は23.5パーセント、10歳代は12.5パーセントです。

現在、基本的には48歳以上の方々の接種を行っていますが、この方々の2回目の接種が9月19日までに終わる予定です。高校1年生から47歳までの方の接種開始日は、9月19日にさせていただきたいと考えています。予約については、対象者に9月上旬に案内を郵送したいと考えています。具体的に何日と申し上げられないのは、国からのワクチン供給がまだ確定していないためです。しかし、これまでの状況を見て、高校1年生から47歳までの方の接種を9月19日から始められるように準備しているところです。

これ以外にも、妊娠中の方には、8月23日に優先接種の案内を出しました。対象者は、8月23日現在で母子手帳の交付を受けている214人と、里帰り出産の方3人を合わせた217人です。対象の方は、一般の方より1日早く予約ができます。会場は、県の大規模接種センターの上越会場で、接種日は、9月4日、5日、11日です。

市の集団接種会場で、キャンセル待ちなどのワクチン接種もさせていただいていますが、すぐに枠が埋まってしまうという苦情の電話も多くいただいています。少ない数ではありますが、少しでも対象の方々のワクチン接種が早く進むように努力させていただいていますので、ご理解いただきたいと思います。県の大規模接種センターの柏崎枠も十分な量ではありませんので、早く接種したいという方々の声を全部受け止めることができず大変申し訳なく思いますが、国からのワクチンは決められた日に決められた量だけしか届かないというのが現状です。

2 質疑応答

◎市内での新型コロナウイルス感染症患者（市内 175～179 例目）の発生に関する質問

記者：今回陽性が判明したご家族の症状を伺いたい。また、既に入院されているのか。

市長：程度の違いはありますが、発熱症状がみられるとのこと。入院については承知していません。

記者：当該小学校の校名の公表に関してはどのように考えているか。

市長：今のところ、判明しているのは2名だけですので公表は考えていません。インターネットなどで正しい情報、正しくない情報含めていろいろな情報が飛び交っていますので、明日の検査結果で複数感染が確認されたならば、その段階でまた考えたいと思います。

記者：小学校は既に夏休みが終わって学校再開していると思うが、登校していたのか。

市長：当該小学校は24日から始まっていますので、登校しています。それも含めて保健所が濃厚接触者を特定して、現在検査をしているところです。

記者：市内 171 例目の方について、先日の公表時の資料では県内感染者の接触者となっていたと思うが、その接触元の方の情報などはあるか。

市長：県の発表以上のことは申し上げられません。

記者：先ほどの市長の説明では、171 例目の方は8月23日に発熱の症状が出て医院を受診して判明したとのことだが、県内感染者の接触者として検査をしたのではないのか。その辺りの事実関係を確認したい。

危機管理監：今回は少し特異なケースです。171 例目の方は8月23日夜に発熱があり、翌日市内の医療機関を受診しました。その時点で、接触元の方が陽性となったということは知られていませんでした。その後、県の調査の結果、171 例目の方は県内感染者の接触者であることが分かり、県がそのように公表しましたので、市もそれに倣って公表したということ

になります。

記者：当該小学校と保育園は、8月30日以降どのようにするのか。

市長：小学校は、明日の夕方に判明する児童と教職員のPCR検査の結果をみて判断します。本日付けだったと思いますが、文科省から大臣名で休校に当たってのガイドラインのようなものが出ていますので、これも参考にしながら判断したいと思っています。私立保育園は、当面の間、お休みすると承知しています。こちらも、明日判明する園児や職員のPCR検査の結果をみながら方向性を決められるものと理解しています。

記者：171例目の方は、176例目の方の妻で、子どもたちの母親と考えてよいか。

市長：そのように考えていただいて構いません。

記者：このご夫婦は、ワクチン接種はまだしていないか。

市長：171例目の方のワクチン接種は承知していません。176例目の方のワクチン接種は、つい最近ではありますが、2回目の接種が終わったと承知しています。

記者：176例目から179例目までの4名は発熱症状があるとのことだが、いつ頃から症状が現れたのか。

市長：いつ頃から何度ぐらいの発熱があるのかは承知していませんが、全員が最初から発熱の症状があったとは承知していません。発熱された方もいれば、発熱されていない方もいるとのことですので、今の段階で全員が発熱状態にあるかどうかは確認できていません。

記者：今ほどの質問は、市長が防災行政無線で、発熱があった場合は職場にも学校にも行かないでほしいと強く求めていましたので、今回のケースはどうだったのか少し気になったためにしたものです。

市長：お子さんに発熱があったかどうかは申し上げられませんが、防災行政無線では当人のみならず、同居の方に発熱症状があった場合にも職場や学校に行かないでほしいと求めています。

ます。171 例目の方は市内医療機関を受診されて、風邪かもしれないと医師から聞いた上で、念のために PCR 検査を受けたということで、風邪なのかなと思っていたのかかもしれません。いずれにしても、現在このような状況ですので、防災行政無線では、念には念を入れて当人のみならず同居の方にも発熱やそれに類するような症状があった場合には、基本的に学校、会社、習い事などにも行かないようにと呼び掛けさせていただいています。

記者：今回の小学校、児童クラブ、保育園関係で PCR 検査を受けている 112 名は、県が濃厚接触者と認定した方々という認識でよいか。

市長：はい。

◎ワクチン予約・接種日程に関する質問

記者：8 月 20 日の臨時記者会見で妊婦の方への優先接種の話をされた際に、0 歳児を持つ方への優先接種も検討したいとのことだったが、どのような状況か。

市長：残念ながらワクチンの確保ができていないため、まずは妊婦の方を優先させていただきます。ワクチンの確保が見込める状況になったならば、検討させていただきたいと思います。

記者：高校 1 年生から 47 歳の方には既に接種券を配布していると思うが、それとは別に予約開始の案内を出されるのか。

市長：はい。

記者：高校 1 年生から 47 歳までの接種日程については、今までのように細かく分けて行うのか、もう少し大雑把になるのか。

市長：1 回当たりのワクチンの供給量が限定されていますので、例えば、9 月 19 日から 9 月末までの予約をまず受け付けますというように、確実に来ているワクチンの数で日程を区切って行いたいと思います。年代では分けません、対象者全員がすぐに予約できるという状況にはありません。